



**IFC**

INTERNATIONAL FINANCE CORPORATION  
WORLD BANK GROUP

# CSR(企業の社会的責任): 意義、挑戦、ソリューション

国際金融公社(IFC)  
社会環境政策・基準室長  
相沢 素子

# CSRの現況

- ▶ **ビジネス環境の変化**
  - グローバル化
  - 新しい通信通話テクノロジー
  - 企業統治（コーポレート・ガバナンス）／企業スキャンダル
  - 持続可能な開発プログラムの拡大
    - ▶ 環境、社会経済、労働、人権…
- ▶ **地域の相違点・格差**
  - 経済的、文化的、社会的状況
  - アメリカ型「ビジネスを正しく行う」対 ヨーロッパ型「正しいことを行うことによって、ビジネスを良くする」
  - 北－北間、北－南間、南－南間投資および貿易関係

# 要因・持続可能マトリックス

- リスク予測機能、リスク・マネジメントの改善
- レピュテーション・マネジメントの向上
- スタッフの採用、育成、雇用保持の助成
- 競争力と市場地位の向上
- 業務上の効率性とコスト削減の向上
- 効果的なサプライチェーンの誘致・構築能力の向上
- 変化への対応能力の向上
- 業務を行う社会的許可のさらなる確立
- 資本のアクセス
- 規制する政府側との関係の向上

ビジネスケースマトリックス		持続可能要因						
		ガバナンス・関与		環境要因		社会経済の開発		
		ガバナンス・マネジメント	ステークホルダーの関与	環境プロセスの向上	環境製品・サービス	現地の経済成長	コミュニティの開発	人材マネジメント
ビジネス成功要因	売上増・市場利用							
	コスト削減・生産性							
	資金の利用							
	リスクマネジメント・業務を行う許可							
	人的資本							
	ブランドの価値・評判							

出典: IFC「価値の開発」

# CSR の「ツール」と「牽引要素」

- ◆ 企業統治(ガバナンス)基準
- ◆ マネジメント・フレームワーク
- ◆ 行動規範
- ◆ パフォーマンス基準
- ◆ 報告基準
- ◆ 保証基準
- ◆ 国際的または国内におけるCSR重視のフレームワーク
- ◆ 社会的責任を担う投資
- ◆ ラベル表示に関するイニシアチブ
- ◆ グリーン調達・社会的調達

# IFCとCSR

- ▶ **持続可能な開発ポリシーのフレームワーク**
  - IFCのCSRへの価値基準および貢献への取り組み
- ▶ **エクエーター原則**
  - IFCの社会環境基準に基づいた、プロジェクトファイナンス銀行における、リスク・マネジメントフレームワーク
- ▶ **持続可能ビジネス・イノベーター**

	要求事項	実施事項
IFC組織内	情報開示ポリシー	環境的・社会的 検証手順
	持続可能ポリシー	
クライアントの プロジェクトレベル	8種類のパフォーマンス基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8種類のガイダンス記録</li> <li>・環境、保健、安全性に関するガイドライン</li> <li>・グッドプラクティス資料</li> </ul>

# 持続可能ビジネス・イノベーター

## 3層の重点項目を伴う、ドナーによる資金提供プログラム

1. 環境面・社会面のメリットをもたらすための革新的なビジネスイニシアティブの具体化
2. 商業的メリットの表示
3. 新興市場において成功例の再現を推奨

## 実践領域

- 持続可能エネルギー
- クリーン化技術
- 持続可能投資
- カーボン・ファイナンス
- 生物多様性
- 社会的責任
- ジェンダー



現実には...

16億人の人々が暗闇の中で  
生活している

# 燃焼型照明の調査を進めるにつれて、 開発障害の深刻さが明らかに



- 家計の可処分所得のうち、10~15%
- 低い照明供給
- 室内空気汚染、火事の原因
- 小規模事業や家内工業に不向きである



- 照明の低品質と、教育パフォーマンスの低さの関連性が実証されている

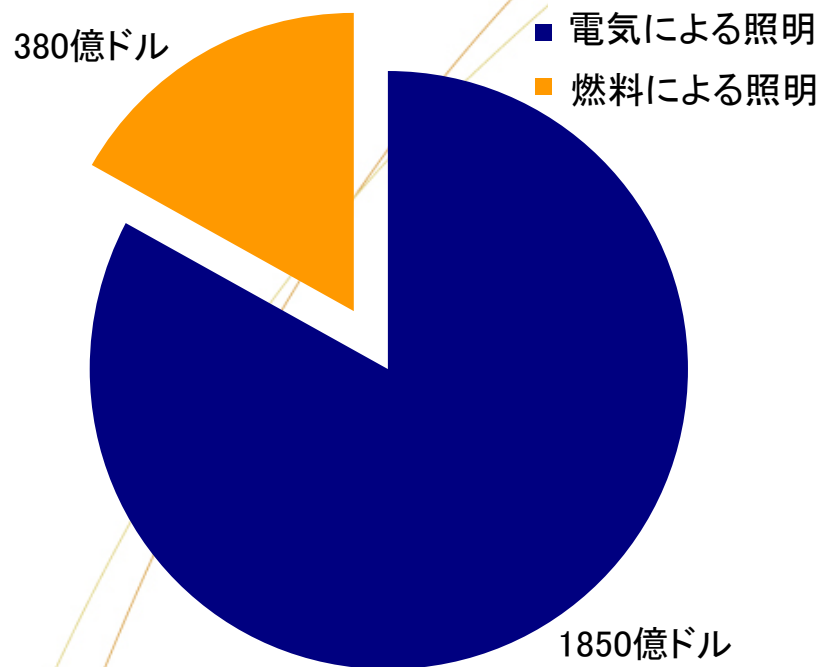


- 低品質の照明によって、マクロビジネスの生産性は著しく損なわれている
- 燃焼型照明は、コストが最も高いアイテムである
- 夜間の業務時間が限定されるため、顧客取引が減少する
- 売り上げと収入を失うことになる

# 調査を進めるにつれて、 燃焼型照明が大規模な市場であると判明

## 大規模な市場

全世界の照明への年間消費金額



- 燃焼型照明は、全世界の照明市場の17% (年間380億ドル) の需要を占める
- 確立されたバリューチェーン、回収システム、「技術サポート」、余剰パーツの使用、修理サービスなどを伴う、商業的、機能的市場である。
- 燃焼型照明はプラクティカルであり、大規模の商業市場である。

出典:エヴァン・ミルズ(エネルギー有効利用照明協会、  
ローレンス・バークレー国立研究所)

# 現代的な自家発電照明器具の導入を支援： LBOP（底辺の人々に光を）

- IFC は独自の専門知識・人材を活用し、照明企業の市場参入を援助
- IFCプロジェクトは参加企業に対し以下を支援
  - (i) 市場リサーチ、(ii) 対象消費者情報、(iii) パートナーのアクセス、(iv) 販売店のアクセス、(v) 資本のアクセス、(v) ステークホルダー、市場参入を成功させるためにその他様々な分野で支援
- 実施の初期フェーズ：実施は2007年第1四半期に予定
- ケニヤとガーナにおいて、試験的に導入
- 現時点の成果
  - ・ 130社以上の照明関連企業が参加の関心を表明
  - ・ 60以上のステークホルダーが参加の関心を表明
  - ・ 同プロジェクトは、自家発電照明に関する世界銀行グループ指導、対10カ国のプログラムの枠組みにおいて主要な位置付けをされている

# 情報・資料

- ▶ IFC「持続可能政策・パフォーマンス基準」
- ▶ パフォーマンス基準トレーニングに関する情報
- ▶ グッド・プラクティスに関する文献
- ▶ 持続可能イノベーター

[www.ifc.org/enviro](http://www.ifc.org/enviro)

- ▶ Lighting the Bottom of the Pyramid  
(LBOP:底辺の人々に光を)

[www.ifc.org/led](http://www.ifc.org/led)

- ▶ IFC情報開示ポリシー

[www.ifc.org/disclosure](http://www.ifc.org/disclosure)

- ▶ エクエーター原則

[www.equator-principles.com](http://www.equator-principles.com)

- ▶ 問合せ先

[maizawa@ifc.org](mailto:maizawa@ifc.org)